

山本亡羊 医者，本草学者。自邸(山本読書室)に多くの門人を迎え，知識を解放することで社会変革めざした"稀代のオタク"。

やまもとぼうよう

船蝦夷来 1778 = 京都油小路通五条上ル上金仏町で，医者で儒学者の山本封山の子に生まれる。名は互市。

田沼意次失脚 1786 = 8歳：

寛政改革始・1787 = 9歳：

父から経学，医術を学び，

異学の禁・・・1790 = 12歳：河田佐助に槍術，剣法を学び，皆伝を受ける。

松平定信引退 1793 = 15歳：この年から，_小野蘭山に就いて，本草学を学び，

また細合半斎に書と詩文，橋本経亮に礼法，東寺の麻田助太夫に雅楽，小沢蘆庵に和歌を学ぶ。

ブーテン来航・1796 = 18歳：

古事記伝・・・1798 = 20歳：この年まで，続けると，*薬の効用を研究するため，邸内に植物園を開き，各地で採集した植物を育て，

_医師をしながら，何にでも興味を抱いて，それを究め，"歩く百科事典"になっていく。動植物から，鉱物，自然現象，人工物まで，森羅万象何へだてなく蒐集すべく，

青洲麻醉手術 1805 = 27歳：

フェート号事件 1808 = 30歳：この年から，_各地の寺院で物産会を開き始め，

黒住教・・・1814 = 36歳：

伊能測量終・1816 = 38歳：_隣地を購入して拡張し，以後は，自宅で物産会を開催，門人も集まるようになり，

水野忠成老中 1818 = 40歳：

群書類従完結 1819 = 41歳：

*講堂を，何にでも好奇心を抱く若者のため，{山本読書室}と名づけて，"オタクの楽園"ともいえるような塾を開き，全ての人に知識と情報を開示することで，身分社会打破をもめざす。朝廷と深い関わりを持つようになり，門人には，岩倉具視の養父や摂関の一条家など公家を筆頭に，僧侶から武士，商人，忍者まで，身分を超えて，全国から延べ1600人も弟子が集まったという。また，弟子を通じた人的ネットワークによって，膨大な諸物が蒐集できたのであって，{山本読書室}は"知のサロン"になった。

シベリヤ来日・1823 = 45歳：

・・・1826 = 48歳：_シーボルトが江戸参府途中京都に滞在中交流，本草の研究のレベルの高さを彼を驚かせ，この時贈られたというガラス薬瓶が現存する。「ドドネウス草木誌」の初版本を所有していたのも不思議はない。その本には各ページに書き込みがあり，ヨーロッパのものを入手して栽培までしている。

この間，星野検校，山本検校に平曲を学び，時鳥と名付けた愛用の琵琶が現存，相撲を好み，力士を招いて相撲を興行したこともあり，囲碁も好むなど，学問以外にも何にでも興味を抱く余裕ぶりでもあった。
鼠小僧磔・・・1832 = 54歳：この年の物産会で，現代では北海道の地名の生みの親として知られるも，当時は身なりかまわずなんでも蒐集する"奇人"として知られた松浦武四郎に出会うと，彼に世の中の広さを教え，蝦夷地探検に向かわせることになる。武四郎は，のちに，シシャモのことを物産会で広め，読書室にエゾシマネズミの標本を収めているばかりか，アイヌ語の地名を書き込んだ北海道の地図まで納めている。

滑稽+人情本 1835 = 57歳：*カラクリ構造を備えた蔵(書庫)を建設した。書庫の棟札には，中国の故事(学者一族が文化の力で国力を高め敵から自国を守ったという)「王謝之美」を継ぐと書いてあり，その志の高さを窺い知ることができる。

大塩平八郎乱 1837 = 59歳：

光格上皇の仙洞御所から，元閣白鷹司政熙を介して，採薬使補任の話が持ち上がったが，

勸進帳初演・1840 = 62歳：

上皇が崩御し，

天保改革始・1841 = 63歳：

政熙も死去したため，立ち消えになった。

天保改革終・1844 = 66歳：

高槻藩臨時御用医となり，月1回高槻に出張する。

阿部正弘首座 1845 = 67歳：

嘉永年間には_幕府より本草関係職へ登用の風聞があったが，心は朝廷にあり幕府仕官をいさぎよしとせず，病気を理由に謝絶。そのほか，多くの大名からもお抱えにしたいという誘いがあったが，政治には関わりたくないと辞退している。

国定忠治磔・1850 = 72歳：

_弟子の一人が，顕微鏡によって微生物を観察した記録「微蟲図」をはじめ，門人たちが蒐集解説し，誰にでも閲覧を許していた，まさに現代のWikipediaのような百科事典「格致類編」125冊が作成されたが，あまりに膨大で出版に至らなかったという。

ペリー来航・1853 = 75歳：

_黒船来航で，ひたすら学問に打ち込んできた門人たちの運命は一変。直後には，硝石不足で，国中がパニックになるなか，すでに読書室では，硝石を土から精製する方法を明らかにしていたので，国を守るうち，全国の門人たちに大砲造りを奨励するうち，

松下村塾・・・1856 = 78歳：

*軽度の中風に罹り，一度快復したものの，

安政の大獄・1859 = 81歳：

再発し，_没した。

孫の復一が後を継ぎ，物産会は，門人たちによって，その後も明治維新まで毎年のように続けられ，60年間の出品目録が完全な形で残っている。大分では，門人の賀来飛露が，2年かけて反射炉を建設し大砲を製造したが，長州戦争が勃発すると，外国と戦うために造ったはずの大砲が，日本人同志の殺し合いに使われてしまったうえ，戦火に巻き込まれる門人も続出，ついに，自分たちの手で反射炉を壊してしまうに至る。復一は岩倉具視の要請に従って，維新後も尽力したが報われず，負債ばかりが残って，読書室の財産の多くを処分，心を通じた西郷隆盛が西南戦争を起こして衝撃を受け，門人らとともに消えて行った。

Wikipedia，NHK「京都千年蔵～幕末奇譚～知を武器に かく闘えり」，